会議資料用

子ども・子育てに関する ニース調査票

皆様には日ごろより、本市児童行政にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。 さて、本市では子ども・子育て支援のための施策を実施しておりますが、国において平成 24年8月に「子ども・子育て支援法」が制定され、各自治体が子ども・子育て支援のため の具体的な「子ども・子育て支援事業計画」を策定し、平成27年度から実施することにな りました。

このたび本市におきましても、この事業計画の策定に向けて、市民の皆様の子ども・子育て支援に関する生活実態やご要望・ご意見などを把握するため、「子ども・子育てに関するニーズ調査」を実施することになりました。

この調査は、住民基本台帳の中から小学生以下のお子さんのいる世帯を無作為に抽出し、 ご協力をお願いするものです。ご回答いただいた調査内容は、市や国・県の子ども・子育て 支援施策の検討にのみ利用させていただくものであり、回答者個人が特定されたり、個々の 回答内容が他にもれたり、他の目的に利用されたりすることは一切ございません。

つきましては、ご多忙のこととは存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成25年11月 新庄市長 山尾 順紀

新庄市

- 〇調査対象となる子どもの保護者が記入することを想定
- 〇量の見込みの推計上必要な項目を編みかけで表記

回答するに当たってお読みください

新庄市では、子ども・子育て支援法(平成24年法律第65号)に基づく新たな子ども・子育て支援の制度(以下「子ども・子育て支援新制度」といいます。)の下で、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、5年間を一期とする子ども・子育て支援事業計画を作成し、計画的に給付や事業を実施していきます。(平成27年度から実施予定)

本調査は、この計画で確保を図るべき教育・保育・子育て支援の「量の見込み」を算出するため、市民の皆さんの教育・保育・子育て支援に関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」を把握するために行うものです。

なお、ここで回答していただいた内容(施設や事業の利用希望等)は、回答者の施設や事業の具体的な利用の可否を確認・決定するものではありません。今回の調査以降、施設や事業の利用希望を変更しても構いません。

○記入については、黒の鉛筆・ボールペンでご記入願います。

〇この調査は、上記の目的以外には使用いたしません。また、調査の回答はすべて統計的 に処理し、皆様にご迷惑をおかけすることはありませんので、率直なご意見をお書きくだ さい。

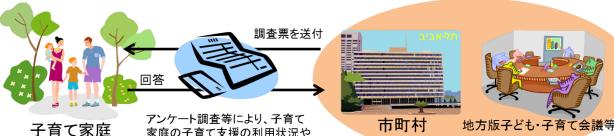
〇記入された調査票は、**12月25日(水)までに、**同封の返信用封筒でご返送ください。

〇この調査票に関するお問い合わせは、下記事務局までお願いいたします。

問い合わせ事務局 新庄市子育て推進課 子育て企画室 担当 荒澤

電話:0233-22-2111 内線547 (平日 8:30~17:15)

いただいた回答は地域の子育て支援の充実に生かされます



家庭の子育て支援の利用状況や 利用希望等を把握

調査等によって把握され た利用希望等を考慮して、

今後の計画を策定



幼稚園、保育所、 認定こども園



小規模保育、家庭 的保育 等

放課後児童クラブ、地域 子育で・支援拠点事業、 一時預かり、病児・病後 児保育 等



市町村子ども・子育て支援事業計画 (5か年計画)

幼児期の学校教育・保育や地域の子育て支援について

- •「量の見込み(現在の利用状況+利用希望)」
- •「確保方策(確保の内容+実施時期)」
- を記載

(用語の定義)

この調査票における用語の定義は以下のとおりです。

・幼 稚 園:学校教育法に定める、3~5歳児に対して学校教育を行う施設(学校教育法第22条)

・保 育 所:児童福祉法に定める、保育を必要とする0~5歳児に対して保育を行う施設 (児童福祉法第39条)

・児童館・児童センター:児童福祉法に定める、0~18歳未満の子どもに対して健全な遊びを与 えその健康を増進し、または情操を豊かにすることを目的に設置された

施設(本市は3~5歳児が対象)(児童福祉法第40条)

・認定こども園:幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設(就学前の子どもに関する教育、保育等の総 合的な提供の推進に関する法律第2条第6項)

• 子 育 て:教育・保育その他の子どもの健やかな成長のために行われる支援

- 教 育:問14までにおいては家庭での教育を含めた広い意味、問15以降においては幼児

期の学校における教育の意味で用いています

お住まいの地域についてうかがいます。

1 お住まいの地区	として当てはまる名	らえの番号 <u>1 つに</u>	<u>:</u> Oをつけてくださし	\ _o	
1. 新庄小学区6. 泉田小学区	2. 沼田小地区7. 昭和小地区	3. 日新小地 8. 升形小地	区 4. 北辰小地 区 9. 本合海小		也区
		名のお子さ ついてうか	んとご家族のł がいます。	状況	
2 宛名のお子さん	の生年月をご記入く	(ださい。(口内)	に <u>数字でご記入</u> くだ <u></u>	さい。数字は一枠に	こ一字。)
平成 □□年	□□月生まれ				
			<u>-</u>		
			きすか。宛名のお子さ る場合は、末子のカ		
きょうだい数	□人 末	子の生年月 平成	は □ □ □ 年 □ □	□月生まれ	
			3名のお子さんから <i>8</i>	yた関係でお答えく	ださい。当
はまる番号 <u>1つに</u>	<u>:</u> Oをつけてください	\ 0			
1. 母親	2. 3	之 親	3. その	他()
5 この調査票にご つけてください。	(回答いただいている	る方の配偶関係に	こついてお答えくだる	さい。当てはまる番	号 <u>1つに</u> O
1. 配偶者がいる	る	2. 配得	者はいない		
	の子育て(教育を含った。 つに○をつけてくた		ているのはどなたで	ですか。お子さんか	らみた関係で
1. 父母ともに		3. 主に父親	4. 主に祖父母	5. その他()

子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

宛名のお子さんの子育て(教育を含む)に日常的に関わっている方はどなた(施設)ですか。お子さん からみた関係(人や施設)で当てはまる番号すべてに〇をつけてください。

1	父母ともに
٠.	スサーいに

2. 母親

3. 父親

4. 祖父母 5. 幼稚園

6. 市立保育所

7. 民間立保育所 8. 児童館・児童センター 9. 認証保育所 10. その他(

)

※施設については、下記一覧を参照。

問8 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)に、影響すると思われる環境すべてに〇をつけてください。

- 1. 家庭
- 2. 地域
- 3. 幼稚園
- 4. 市立保育所
- 5. 民間立保育所

- 6. 児童館・児童センター
- 7. 認証保育所 8. その他(

)

※施設については、下記一覧を参照。

※施設一覧

幼稚園	金沢幼稚園		中部保育所
	大手幼稚園	市立保育所	南部保育所
	新庄幼稚園		泉田保育所
	新庄聖マルコ幼稚園	民間立保育所	パリス保育園
	向陽幼稚園	以间立体自加	新庄保育園
	新庄ベビーホーム	旧辛纳。旧辛	萩野児童センター
	なかよしこども園	児童館・児童 センター	本合海児童センター
	NPO法人はぐくみ保育園		升形児童館
認証保育所	ひまわり保育園		新庄徳洲会病院付属ピノキオ保育園
	にこにこベビーホーム	その他 (例)	託児ルームHUG
	NPO法人オープンハウスこんぺいとう		NPO法人くれよんはうす
	にこにこ東園		地域子育て支援センター

問9 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに〇をつけてくだ さい。

1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる

⇒ 問9-1へ

- 2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる
- 3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる
- 4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる
- 問 9-2 へ

5. いずれもいない

⇒ 問10へ

問9−1 問9で「1.」または「2.」に○をつけた方にうかがいます。祖父母等の親族にお子さんをみてもら っている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに〇をつけてください。

- 1. 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心 して子どもをみてもらえる
- 2. 祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である
- 3. 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
- 4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
- 5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
- 6. その他(

⇒ 問10へ

1.	友人・知人の身体的・精神的	な負担や時間	間的制約を	心配する	ことなく	、安心	して子どもをみ	ナて
え	.a							
2.	友人・知人の身体的負担が大	さく心配でな	ある					
3.	友人・知人の時間的制約や精	情神的な負担な	が大きく心	配である				
4.	自分たち親の立場として、負	担をかけてい	いることが	心苦しい				
5.	子どもの教育や発育にとって	こふさわしい	環境である	か、少し	/不安がま	ある		
6.	その他()		
	はありますか。当てはまる翟 1. いる/ある ⇒ 問 1		をつけてく		ハない/	ない	⇒ 問11へ	
	問 10 で「1. いる/ある」に							
し	て、気軽に相談できる先は、	誰(どこ) -	ですか。当	てはまる	番号 <u>す^</u>	<u>くてに</u> (つをつけてくだる	さし
1.	祖父母等の親族		2.	友人や	一人			
3.	近所の人		4.	子育て	支援施設	(地域:	子育て支援セン	タ-
						児童	館等)・NPO	
5.	保健所・保健センター		6.	保育士				
	保健所・保健センター 幼稚園教諭		•		員・ 児童	委員		
7.			8.	民生委	員・児童: の子育て		当窓口	
7. 9.	幼稚園教諭	ター	8.	民生委			当窓口	

宛名のお子さんの保護者の就労状況 についてうかがいます。

問12 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)をうかがいます。

(1)	母親	【父子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号 <u>1つに</u> 〇をつり	ナてくだ	さい	1 0
1	. フル	ッタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、)		
	産休・	育休・介護休業中ではない			
2	. フル	タイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しているが、			
	産休·	・育休・介護休業中である			
3	. /°-	-ト・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、	=	>	(1) -1.
	産休・	育休・介護休業中ではない			(1) -2 ^
4	. パー	-ト・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しているが、			
	産休・	・育休・介護休業中である			
5	。以前	がは就労していたが、現在は就労していない	了.	⇒	(Z) ^
6	. これ	まで就労したことがない			(2) **
, ,	\ 1	/ 4 〉 マ『1 、	油小子 。		<u>┌┯┲┰</u> ┡
(1		(<u>1)で「1.~4.」(就労している) に〇をつけた方にうかがいます。</u> 日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日			
		合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・1			
	入	る前の状況についてお答えください。(口内に数字でご記入ください。	数字は一	一枠	に一字。)
		1週当たり 🔲 日 1日当たり 🔲 🗎 時間			
(1		(1)で「1.~4.」(就労している)にOをつけた方にうかがいます。			
(1	お	ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー	いてお	答え	とください。盾
(1	お [:] 休	_ 答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンにつ ・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えくださ	いてお い。時	答 <i>え</i> 間は	こください。 産 、必ず (例)
(1	お [:] 休 0	ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー	いてお い。時	答 <i>え</i> 間は	こください。 産 、必ず (例)
(1	お [:] 休 0	ー 答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンにつ ・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えくださ 8時~18時のように、24時間制でお答えください。(□内に数字で	いてお い。時	答 <i>え</i> 間は	こください。 産 、必ず (例)
(1	お [:] 休 0	答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンにつ ・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えくださ 8時~18時のように、24時間制でお答えください。(口内に数字では に一字。)	いてお い。時	答 <i>え</i> 間は	こください。 産 、必ず (例)
	お 休 O 枠	答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンにつ ・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えくださ 8時~18時のように、24時間制でお答えください。(口内に数字では に一字。)	いてお い。時 ご記入く	答 <i>え</i> 間は だる	ください。 id 、必ず (例) さい。数字は-
(2)	お休の枠	答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンにつ・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えくださ8時~18時のように、24時間制でお答えください。(口内に数字でに一字。) 家を出る時刻 □ □ 時 帰宅時刻 □ □ 時	いてお い。時 ご記入く	答 <i>え</i> 間は だる	ください。 id 、必ず (例) さい。数字は-
(2)	お休 O 枠 父親 ・ フル	答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンにで・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えくださ8時~18時のように、24時間制でお答えください。(口内に数字ではに一字。) 家を出る時刻 □ □ 時 帰宅時刻 □ □ 時	いてお い。時 ご記入く	答 <i>え</i> 間は だる	ください。 id 、必ず (例) さい。数字は-
(2)	お休 O 枠 父親 . う休・	答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンにで・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えくださ8時~18時のように、24時間制でお答えください。(口内に数字でに一字。) 家を出る時刻 □ □ 時 帰宅時刻 □ □ 時 【母子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号 1つに〇をつじりタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、	いてお い。時 ご記入く	答 <i>え</i> 間は だる	ください。 id 、必ず (例) さい。数字は-
(2)	お休 0 枠 父親 . 育休 フル	答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンにで・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えくださ8時~18時のように、24時間制でお答えください。(口内に数字でに一字。) 家を出る時刻 □ □ 時 帰宅時刻 □ □ 時 【母子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号 1つに〇をつじりタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、・介護休業中ではない	いてお い。時 ご記入く	答 <i>え</i> 間は だる	ください。 id 、必ず (例) さい。数字は-
(2)	お休 0 枠 	答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンにで・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えくださ8時~18時のように、24時間制でお答えください。(口内に数字でに一字。) 家を出る時刻 □ □ 時 帰宅時刻 □ □ 時 【母子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号1つに〇をつじたタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、・介護休業中ではない。	いてお い。時 ご記入く	答 <i>え</i> だ。	ください。 id 、必ず (例) さい。数字は- 、。 、。
(2)	お休 0 枠 父 . 育 . 育	答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンにで・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えくださ8時~18時のように、24時間制でお答えください。(口内に数字でに一字。) 家を出る時刻 □ □ 時 帰宅時刻 □ 時 【母子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号1つに〇をつじなり、1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、・介護休業中ではない。クイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しているが、・介護休業中である	い。時 ご記入く ナてくだ	答 <i>え</i> だ。	ください。 d 、必ず (例) さい。数字は-
(2) 1	お休 0 枠 父 . 育 . 育 . 育 . 作 パ 休	答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンにで・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えくださ8時~18時のように、24時間制でお答えください。(口内に数字でに一字。) 家を出る時刻 □ 時 帰宅時刻 □ 時 【母子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号1つに〇をつじなイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、・介護休業中ではない・クイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しているが、・介護休業中である -ト・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、	い。時 ご記入く ナてくだ	答 <i>え</i> だ。	ください。 id 、必ず (例) さい。数字は- 、。 、。
(2) 1	な休 0 枠父 . 育 . 育 . 育 .女 . 育 . 育 . 育 . 育 育 . 育 .	答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンにで・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えくださ8時~18時のように、24時間制でお答えください。(口内に数字では一字。) 家を出る時刻 □ 時 帰宅時刻 □ 時 【母子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号 1つに〇をつけるタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、か介護休業中ではない。クイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しているが、・介護休業中である -ト・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、・介護休業中ではない	い。時 ご記入く ナてくだ	答 <i>え</i> だ。	ください。 id 、必ず (例) さい。数字は- 、。 、。
(2) 1 2 3	3. (1) (2) (2) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンにで・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えくださ8時~18時のように、24時間制でお答えください。(口内に数字でに一字。) 家を出る時刻 □ 時 帰宅時刻 □ 時 【母子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号1つに〇をつじなり、クイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、クイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、ク護休業中ではない。クイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しているが、・介護休業中である ・ト・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、・介護休業中ではない・ト・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、・介護休業中ではない	いい 時代 くだ ニーニー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	答えば、さし、さし	ください。 id 、必ず (例) さい。数字は- 、。 、。

((2)-1 <u>(2)で「1.~4.」(就労している)に〇をつけた方にうかがいます。</u> 1週当たりの「就労日数」、 1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が、一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(□内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字。)
	1 週当たり 日 1 日当たり 日 日 日 日 日
((2)-2 <u>(2)で「1.~4.」(就労している)に〇をつけた方にうかがいます。</u> 家を出る時刻と帰宅時刻でお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。 休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず (例) 0 8 B ~1 8 時のように、2 4 時間制でお答えください。(口内に数字でご記入ください。数字は一枠に字。)
	家を出る時刻 □ □ 時 帰宅時刻 □ □ 時
<u>かが</u>	3 <u>問 12 の(1)または(2)で「3.4.」(パート・アルバイト等で就労している)に〇をつけた方にういます。該当しない方は、問 14 へお進みください。</u> フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号 <u>1つに</u> 〇をつけてください。
	 7日期 1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある 2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはな 3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望 4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい
(2) 父親1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはな
	3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望 4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい
	4 <u>問 12 の(1)または(2)で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に〇をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問 15 へお進みください。</u> 就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号 <u>それぞれ 1 つに</u> 〇をつけ、該当する口内には数字をご記入ください(数字は一枠に一字)。
	1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
	2. 1年より先、一番下の子どもが ロロ歳になったころに就労したい
	3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい
	→1週当たり □日 1日当たり □時間
(2)	父親
	1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない) 2. 1年より先、一番下の子どもが ロロ歳になったころに就労したい
	3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい
	→希望する就労形態
	→1週当たり □日 1日当たり □ 時間

宛名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の 利用状況についてうかがいます。

※ここでいう「定期的な	教育・保育事業」とに	‡、月単位で定期的に利用して(ハる事業を指します。	具体的には、
幼稚園や保育所など、	問 15-1 に示した事業	が含まれます。		

問 15 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。 当てはまる番号<u>1つに</u>〇をつけてください。

2. 利用していない

⇒ 問15-5へ

1. 利用している ⇒ 問15-1 へ

	いる」にひをつけた方にうかかいます。
宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育(用している事業をお答えください。当てはまる	の事業を利用していますか。年間を <mark>通じて「定期的に」</mark> 利 番号 <u>すべてに</u> 〇をつけてください。
1. 幼稚園 通常の就園時間の利用 金沢幼稚園、大手幼稚園、新庄幼稚園、 新庄聖マルコ幼稚園、向陽幼稚園	2. 幼稚園の預かり保育 (通常の就園時間を延長して預かる事業 のうち定期的な利用のみ)
3. 認可保育所 中部保育所、南部保育所、泉田保育所 パリス保育園、新庄保育園	4. 児童館・児童センター
5. その他の認可外の保育施設 (託児ルームHUG)	6. 事業所内保育施設 (徳洲会病院付属ピノキオ保育園)
7. 自治体の認証・認定保育施設 新庄ベビーホーム、なかよしこども園、はぐくみ保育園、にこにこベビーホームひまわり保育園、にこにこ東園	8. 居宅訪問型保育 (ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業)
タ. 地域子育て支援センター	10. ファミリー・サポート・センター (地域住民が子どもを預かる事業)
11. 家庭的保育(育者の家庭で保育する事業) 注:上記項目については、本市で行っていない事業	
<u>してはどのくらい利用</u> したいですか。1週当た	業について、 <u>どのくらい利用</u> していますか。また、 <u>希望と</u> り何日、1日当たり何時間(何時から何時まで)かを、□ 忰に一字)。時間は、必ず (例)09時~18時のよう
(1) 現在	
1週当たり	□□□時間 (□□□時~□□時)
(2) 希望 1 週当たり □ 日 1 日当たり	□□時間(□□時~□□時)
	8

問 15-3 現在、利用している教育・保育事業の実施場所についてうかがいます。「1.」「2.」の<u>いずれかに</u>〇をつけてください。

- 1. 新庄市内
- 2. 他の市町村

問 15-4 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由についてうかがいます。主な理由として当てはまる番号<u>すべてに</u>〇をつけてください。

- 1. 子どもの教育や発達のため
- 2. 子育て(教育を含む)をしている方が現在就労している
- 3. 子育て(教育を含む)をしている方が就労予定がある/求職中である
- 4. 子育て(教育を含む)をしている方が家族・親族などを介護している
- 5. 子育て(教育を含む)をしている方が病気や障害がある
- 6. 子育て(教育を含む)をしている方が学生である
- 7. その他(

問 15-5 <u>問 15 で「2.利用していない」に〇をつけた方にうかがいます。</u>利用していない理由は何ですか。 理由としてもっとも当てはまる番号すべてに〇をつけてください。

- 1. (子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で) 利用する必要がない
- 2. 子どもの祖父母や親戚の人がみている
- 3. 近所の人や父母の友人・知人がみている
- 4. 利用したいが、保育・教育の事業に空きがない
- 5. 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない
- 6. 使用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない
- 7. 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない
- 8. 子どもがまだ小さいため (歳くらいになったら利用しようと考えている)
- 9. その他(

	の教育・保育の事業として、 べてに〇をつけてください。	「定期的に」利	用した	<u>いと考える事業</u> をお答えください。当てはまる番号 <u>す</u>
1.	幼稚園(通常の就園時間の利用)		2.	幼稚園の預かり保育 (通常の就園時間を延長して預かる事業のうち 定期的な利用のみ)
3.	認可保育所(市立・民間(国が定める最低基準に適合都道府県等の認可を受けた)以上のもの)	した施設で	4.	認定こども園 (幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設)
5.	児童館・児童センター		6.	家庭的保育 (保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業)
7.	小規模な保育施設 (国が定める最低基準に適合 市町村の認可を受けた定員を 人のもの)		8.	事業所内保育施設(企業が主に従業員用に運営する施設)
9.	自治体の認証・認定保育 (認可保育所ではないが、自 認定した施設)		1 (). その他の認可外の保育施設
11	. 居宅訪問型保育 (ベビーシッターのような係 もの家庭で保育する事業)	骨者が子ど	12	. ファミリー・サポート・センター (地域住民が子どもを預かる事業)
13	3. その他()		

問 16 すべての方にうかがいます。<u>現在、利用している、利用していないにかかわらず、</u>宛名のお子さんの平日

注:上記項目については、本市で行っていない事業も掲載しております。

問 16-1 教育・保育事業を利用したい場所についてうかがいます。「1.」「2.」の $\underline{\text{o}}$ いずれかに $\underline{\text{O}}$ をつけてください。

1. 新庄市内 2. 他の市町村

宛名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況 についてうかがいます。

問 17 宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業(新庄市地域子育て支援センターなど)を利用していますか。次の中から、利用されているもの<u>すべてに</u>〇をつけてください。また、おおよその利用回数(頻度)を 口内に数字でご記入ください(数字は一枠に一字)。

1. 地域子育で支援拠点事業(新庄市地域子育で支援センター、パリス保育園地域子育で支援センター、	
新庄保育園地域子育て支援センター)	
1週当たり □ 回 もしくは 1ヶ月当たり □ 回程度	
2. その他当該自治体で実施している類似の事業(具体名:)	
1週当たり □	
3. 利用していない	_

問 18 問 17 のような地域子育で支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。当てはまる番号一つに〇をつけて、おおよその利用回数(頻度)を口内に数字でご記入ください(数字は一枠に一字)。

を口内に数十でこ記入ください(数十は一件に一十)。	
1. 利用していないが、今後利用したい	
1週当たり □□ もしくは 1ヶ月当たり □□程度	
2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい	
1週当たり 更に □回 もしくは 1ヶ月当たり 更に □回程度	
3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない	

問 19 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①~⑦の事業ごとに、A~Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」の<u>いずれかに〇</u>をつけてください。

	A 知っている		B これまでに利用 したことがある		С		
					今後利用したい		
①地域子育て支援センター(育児相談、子育 てサークル等への育成支援など)	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ	
②わらすこ広場	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ	
③母親教室(プレママ広場)	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ	
④子育て教室(こんにちは赤ちゃん 事業、すくすく赤ちゃん教室)	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ	
⑤乳幼児相談、発達支援相談(すこ やかこども相談)	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ	
⑥家庭児童相談、婦人相談	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ	
⑦放課後児童クラブ(学童保育所)	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ	
000	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ	
000	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ	

宛名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な 教育・保育事業の利用希望についてうかがいます。

問 20	時的な利用は除きます)。希望がある場合は制でご記入ください(数字は一枠に一字)。	
	りは含みません。	認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預か
	土曜日 . 利用する必要はない	
		りしたい時間帯
3.	. 月に1~2回は利用したい	□□時から□□時まで
	日曜・祝日	
	. 利用する必要はない . ほぼ毎週利用したい	したい時間帯
	. 月に1~2回は利用したい	□□時から□□時まで
		引に1~2回は利用したい」に〇をつけた方にうかがいます。毎 すか。当てはまる番号 <u>すべてに〇</u> をつけてください。
1.	. 月に数回仕事が入るため	2. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため
3.	親族の介護や手伝いが必要なため	4. 息抜きのため
5.	、その他(
問 21	「幼稚園」を利用されている方にうかがい	<u>ます。</u> 宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇
	18時のように24時間制でご記入くださ	すか。希望がある場合は、利用したい時間帯を、 (例) O 9 時~ い (数字は一枠に一字) 。
	利用する必要はない 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい	利用したい時間帯
3.	休みの期間中、週に数日利用したい	→ □□時から□□時まで
問 21-	1 問 21 で、「3.週に数日利用したい」に(理由はなんですか。当てはまる番号すべて)	Oをつけた方にうかがいます。毎日ではなく、たまに利用したい <u>にO</u> をつけてください。
1.		
3.	親等親族の介護や手伝いが必要なため	4. 息抜きのため
5.	、その他(

宛名のお子さんの病気の際の対応についてうかがいます。 (平日の教育・保育を利用する方のみ)

問 22	平日の定期的な	教育・保育事 業	美を利用してい	ると答えた保証	養者の方(問)	15で1に	Oをつけた:	方)にうかが
	います。利用して	こいらっしゃら	ない方は、問	23 にお進みく	ださい。			
	この1年間に、宛	名のお子さん	が病気やケガ ⁻	で通常の教育・	保育事業が利	用できなが	かったことに	はありますか。
	1. あった	⇒ 18	3 22-1 ^	2.	なかった	⇒問	23 ^	
問 2				している教育				
	間に行った対処							<u>"でご記入</u> くだ
	さい(半日程原	隻の対応の場合	きも1日とカウ	ントしてくだる	さい。数字は一	-枠に一字	·) 。	
				on all all			144	

	1年間の対処方法	日数
ア.	父親が休んだ	
1	母親が休んだ	
ウ.	(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった	
工.	父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	
オ.	病児・病後児の保育を利用した	
カ.	ベビーシッターを利用した	
丰.	ファミリー・サポート・センターを利用した	
ク.	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	
ケ.	その他(

※「キ.ファミリー・サポート・センター」(地域住民が子どもを預かる事業)

┡ 問 22-1 で「ア」「イ」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問 22-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号1つに〇をつけ、日数についても口内に数字でご記入ください(数字は一枠に一字)。

1.	できれば病児・病後児保育施設等を利用したい	\Rightarrow	□ □ □ ⇒ 問 22-3 へ
2.	利用したいとは思わない		⇒ 問 22-4 へ

問 22-3 <u>問 22-2 で「1. できれば病児・病後児保育施設等を</u>利用したい<u>」に〇をつけた方にうかがいます。</u> 上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる 番号すべてに〇をつけてください。

- 1. 利用中の施設(例:幼稚園・保育所等)に併設した施設で子どもを保育する事業
- 2. 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業
- 3. 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業(例:ファミリー・サポート・センター等)
- 4. その他(

⇒ 問23へ

⇒ 問22-5へ

1. 病児・病後児を他人に看てもらうのは不	安 2.	地域の事	業の質に不安があ	う る	
3. 地域の事業の利便性(立地や利用可能限日数など)がよくない	間 4.	利用料が	かかる・高い		
5. 利用料がわからない	6.	親が仕事	を休んで対応する	3	
7. その他()				
				⇒ 問2	3 4
2-1 で「ウ.」から「ケ.」のいずれかに回答	こした方に	うかがいョ	‡ਰ		
22-5 その際、「できれば父母のいずれかが [。]	仕事を休ん	で看たい」	と思われました	か。当てはまる	6 ₹
つに〇をつけ、「ウ」から「ケ」の日数(のうち仕事	を休んで看	たかった日数につ	ついても数字で	: c
ください(数字は一枠に一字)。				- <u> </u>	
. できれば仕事を休んで看たい ⇒ □[] 8	⇒ 問23	^		
2. 休んで看ることは非常に難しい		⇒ 問22	-6 ^		
2. 休んで看ることは非常に難しい		⇒ 問22	-6 ^		
2. 休んで看ることは非常に難しい		⇒ 問22	-6 ^		
2. 休んで看ることは非常に難しい 22-6 問22-5で「2. 休んで看ることは非常に	難しい」に				5.F
22-6 問 22-5 で「2. 休んで看ることは非常に				⁻ 。そう思われ [。]	5±
	ください。	つをつけた	方にうかがいます	⁻ 。そう思われ [。]	5 I
22-6 問 22-5 で「2. 休んで看ることは非常に ついて当てはまる番号 <u>すべてに</u> 〇をつけて	ください。 2.	つをつけた	方にうかがいます	⁻ 。そう思われ <i>◇</i>	3±
22-6 問 22-5 で「2. 休んで看ることは非常に ついて当てはまる番号<u>すべてに</u>〇をつけて 1. 子どもの看護を理由に休みがとれない	ください。 2.	Oをつけた 自営業な	方にうかがいます	⁻ 。そう思われ∂	5 3
22-6 問 22-5 で「2. 休んで看ることは非常に ついて当てはまる番号<u>すべてに</u>〇をつけて 1. 子どもの看護を理由に休みがとれない	ください。 2.	Oをつけた 自営業な	方にうかがいます	⁻ 。そう思われ√	5 3
22-6 問 22-5 で「2. 休んで看ることは非常に ついて当てはまる番号<u>すべてに</u>〇をつけて 1. 子どもの看護を理由に休みがとれない	ください。 2.	Oをつけた 自営業な	方にうかがいます	⁻ 。そう思われ <i>∘</i>	3 3
22-6 問 22-5 で「2. 休んで看ることは非常に ついて当てはまる番号<u>すべてに</u>〇をつけて 1. 子どもの看護を理由に休みがとれない	ください。 2.	Oをつけた 自営業な	方にうかがいます	⁻ 。そう思われ <i>◇</i>	33

宛名のお子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を 伴う一時預かり等の利用についてうかがいます。

問23 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、<u>私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期</u>に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号<u>すべてに</u>〇をつけ、1年間の利用日数(おおよそ)も口内に数字でご記入ください(数字は一枠に一字)。

利用している事業・日数(年間)	
1. 一時預かり (私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを 保育する事業)	
2. 幼稚園の預かり保育	
(通常の就園時間を延長して預かる事業のうち	⇒ 問24へ
不定期に利用する場合のみ)	
3. ファミリー・サポート・センター	
(地域住民が子どもを預かる事業)	
4. 夜間養護等事業:トワイライトステイ	
(児童養護施設等で休日・夜間、子どもを保護する事業)	
5. ベビーシッター	
6. その他(
7. 利用していない	

問23で「7、利用していない」と回答した方にうかがいます。

- 間23-1 現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに〇をつけてください。
 - 1. 特に利用する必要がない
 - 3. 地域の事業の質に不安がある
 - 5. 利用料がかかる・高い
 - 自分が事業の対象者になるのかどうか わからない
 - 9. その他(

- 2. 利用したい事業が地域にない
- 4. 地域の事業の利便性(立地や利用可能時間・ 日数など)がよくない
- 6. 利用料がわからない
- 8. 事業の利用方法(手続き等)がわからない

間24 宛名のお子さんについて、<u>私用、親の通院、不定期の就労等の目的</u>で、年間何日くらい事業を<u>利用する必要がある</u>と思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号<u>すべてに</u>〇をつけ、必要な日数をご記入ください(利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を口内に<u>数字でご記入</u>ください。数字は一枠に一字。)。

)

	1. 利	用した	561	計□□	В
		ア.	私用(買物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等)、リフ レッシュ目的		
		イ .	冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院 等		
↓		ウ.	不定期の就労		
問 24-1 へ		I.	その他(В
	2. 利	用する	ら必要はない ⇒ 問25へ		

問 24-1	問 24 で「	<u>1. 利用したい」</u>	に〇をつけたた	<u>「にうかがいま</u>	<u>ます。</u> 問 24	の目的でお子	さんを預け	る場合、
下	記のいずれ	の事業形態が望	ましいと思われ	ιますか。当 ⁻	てはまる番	号すべてに〇	をつけてく	ださい。

- 1. 大規模施設で子どもを保育する事業(例:幼稚園・保育所・児童館・児童センター等)
- 2. 小規模施設で子どもを保育する事業(例:地域子育て支援センター等)
- 3. 地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業(例:ファミリー・サポート・センター等)
- 4. その他(

問25 この1年間に、<u>保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気など)</u>により、宛名のお子さんを<u>泊りがけ</u>で 家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか(預け先が見つからなかった場合も含みます)。 あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまる番号<u>すべてに</u>〇をつけ、それぞれの日数も口内に<u>数</u> 字でご記入ください(数字は一枠に一字)。

		1年間の対処方法	日数
1. あった	ア.	(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった	□ □ 泊
	イ.	短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した (児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業)	□□ 泊
	ウ.	イ以外の保育事業(認可外保育施設、ベビーシッター等) を利用した	□□ 泊
	Ι.	仕方なく子どもを同行させた	
	オ.	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	□□ 泊
	力.	その他(□ □ 泊
2. なかった			

→問 25 で「1.あった ア.(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」と答えた方にうかがいます。

⇒ア. 以外を選択した方は 問 26 へ

問25-1 その場合の困難度はどの程度でしたか。当てはまる番号1つに〇をつけてください。

1. 非常に困難 2. どちらかというと困難 3. 特に困難ではない

宛名のお子さんが5歳以上である方に、小学校就学後の 放課後の過ごし方についてうかがいます。

⇒ 5歳未満の方は、問30へ

日くらい

日くらい

日くらい

問26 宛名のお子さんについて、小学校低学年(1~3年生)のうちは、放課後(平日の小学校終了後)の時間を どのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号<u>すべてに</u>〇をつけ、それぞれ希望する週当た り日数を<u>数字でご記入</u>ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も口内に<u>数</u> 字でご記入ください。時間は必ず(例)18時 のように24時間制でご記入ください(数字は一枠に一字)。

1. 自宅

3. 習い事

2. 祖父母宅や友人・知人宅

(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)

「放課後児童クラブ」…地域によって学童保育などと呼ばれています。保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下、子どもの生活の場を提供するものです。

4. 児童館 ※1	
	週 🏻 日くらい
5. 放課後子ども教室 ※2	週 日くらい
6. 放課後児童クラブ〔学童保育〕	週 日<らい
	→ 下校時から □□時まで
7. ファミリー・サポート・センター ※3	週 🔲 日くらい
8. その他(公民館、公園など)	週 🔲 日くらい
※1 児童館で行う放課後児童クラブを利用している	
※2 「放課後子ども教室」・・・地域の方々の協力を得る。	导て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポ ⊰護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が
ーグ・文化去側	: 護台の航力の有無に関わらず、 9 个 6の小字主が
※3 ファミリー・サポート・センター(地域住民が子	どもを預かる事業)
間 27 宛名のお子さんについて、小学校高学年(4~6年生	
	はまる番号 <u>すべてに</u> ○をつけ、それぞれの週当たり日 ·ブ」の場合には利用を希望する時間も□内に数字でご
	24時間制でご記入ください(数字は一枠に一字)。
注:現在お持ちのイメージでお答えください。	
1. 自宅	
1. 60	週 🔲 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 □ 日<らい 週 □ 日<らい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅3. 習い事	週 日くらい
 2. 祖父母宅や友人・知人宅 3. 習い事 (ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など) 	週 日<らい週 日<らい
2. 祖父母宅や友人・知人宅 3. 習い事 (ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など) 4. 児童館 ※1	週 日<らい週 日<らい週 日<らい
2. 祖父母宅や友人・知人宅 3. 習い事	週 日<らい週 日<らい週 日<らい週 日<らい
2. 祖父母宅や友人・知人宅 3. 習い事 (ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など) 4. 児童館 ※1 5. 放課後子ども教室 6. 放課後児童クラブ〔学童保育〕	週 □ 日<らい 週 □ 日<らい 週 □ 日<らい 週 □ 日<らい 週 □ 日<らい → 下校時から □ □ 時まで
 2. 祖父母宅や友人・知人宅 3. 習い事 (ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など) 4. 児童館 ※1 5. 放課後子ども教室 6. 放課後児童クラブ〔学童保育〕 7. ファミリー・サポート・センター ※2 	週 □ 日<らい 週 □ 日<らい 週 □ 日<らい 週 □ 日<らい 週 □ 日<らい □ 日<らい □ 日<らい □ 日<らい □ 日<らい
2. 祖父母宅や友人・知人宅 3. 習い事 (ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など) 4. 児童館 ※1 5. 放課後子ども教室 6. 放課後児童クラブ〔学童保育〕	週 日<らい 週 日<らい 週 日<らい 週 日<らい 週 日<らい 週 日<らい → 下校時から 日 日<らい 週 日<らい 週 日<らい

て、当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、□内に(例) 09時~18時 のよう に24時間制でご記入ください(数字は一枠に一字)。 (1) 土曜日 → 利用したい時間帯 1. 低学年(1~3年生)の間は利用したい 時から 2. 高学年(4~6年生)になっても利用したい-3. 利用する必要はない (2)日曜・祝日 → 利用したい時間帯 1. 低学年(1~3年生)の間は利用したい 2. 高学年(4~6年生)になっても利用したい-3. 利用する必要はない 問29 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希 望はありますか。当てはまる番号1つに〇をつけてください。また利用したい時間帯を、口内に(例)09時~1 8時 のように24時間制でご記入ください(数字は一枠に一字)。 → 利用したい時間帯 1. 低学年(1~3年生)の間は利用したい

2. 高学年(4~6年生)になっても利用したい

3. 利用する必要はない

」時から □□□時まで

問 28 <u>問 26 または問 27 で「6. 放課後児童クラブ(学童保育)」に〇をつけた方にうかがいます。</u>宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。(1)(2)それぞれについ

すべての方に、育児休業や短時間勤務制度など 職場の両立支援制度についてうかがいます。

問30 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号<u>1つに</u>〇をつけてください。また、取得していない方はその理由を 点線で囲んだ部分から番号を選んでご記入ください。

母親 (いずれかに〇)	父親 (いずれかに〇)
1. 働いていなかった	1. 働いていなかった
2. 取得した(取得中である)	2. 取得した(取得中である)
3. 取得していない ⇒ 取得していない理由 (下から番号を 選んでご記入ください) (いくつでも)	3. 取得していない ⇒ 取得していない理由 (下から番号を 選んでご記入ください) (いくつでも)

- 1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
- 2. 仕事が忙しかった
- 3. (産休後に) 仕事に早く復帰したかった
- 4. 仕事に戻るのが難しそうだった
- 5. 昇給・昇格などが遅れそうだった
- 6. 収入減となり、経済的に苦しくなる
- 7. 保育所(園) などに預けることができた
- 8. 配偶者が育児休業制度を利用した
- 9. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
- 10. 子育てや家事に専念するため退職した
- 11. 職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)
- 12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
- 13. 育児休業を取得できることを知らなかった
- 14. 産前産後の休暇(産前6週間、産後8週間)を取得できることを知らず、退職した

15. その他(

問30-1 子どもが原則 1歳(保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は 1歳6月)になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満3歳になるまでの育児休業等(法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置)期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。当てはまる番号1つに〇をつけてください。

- 1. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた
- 2. 育児休業給付のみ知っていた
- 3. 保険料免除のみ知っていた
- 4. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった

問30で「2. 取得した(取得中である)」と回答した方にうかがいます。

1)母親	
. 育児休業取得後、職場に復帰した	
2. 現在も育児休業中である	
3. 育児休業中に離職した	
2)父親	
. 育児休業取得後、職場に復帰した	
2. 現在も育児休業中である	
3. 育児休業中に離職した	
)-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」。 0-3 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの はそれ以外でしたか。どちらか <u>1つに</u> 〇をつけて て、1月~2月頃復帰して一時的に認可外保育所した。年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際 合も「1.」を選択してください。	保育所入所に合わせたタイミングでしたかください。※年度初めでの認可保育所入所に入所した場合なども「1.」に当てはまり
 1) 母親 1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった 	
2)父親	
1 年度初めの入所に合わせたタイミングだった	2 それ以外だった
1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった0-4 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のとき	
0-4 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何 の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のとき さい(数字は一枠に一字)。	ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、
D-4 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときさい(数字は一枠に一字)。	ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、
0-4 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときさい(数字は一枠に一字)。 1) 母親 『際の取得期間	「ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、 まで取りたかったですか。ロ内に <u>数字でご</u>
0-4 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときさい(数字は一枠に一字)。	「ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、 まで取りたかったですか。ロ内に <u>数字でご</u>
0-4 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときさい(数字は一枠に一字)。 1) 母親 『際の取得期間	「ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、まで取りたかったですか。□内に <u>数字でご</u> ・ ・
D-4 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときさい(数字は一枠に一字)。 1)母親 以際の取得期間 □ 歳 □ □ ヶ月 2)父親 以際の取得期間 □ 歳 □ □ ヶ月 □ ☆ □ □ ヶ月	「ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、まで取りたかったですか。□内に <u>数字でご</u> ・ ・

問30-4で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。

問30-6 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

(1)「希望」より早く復帰した方 ※当てはまる番号すべてに〇をつけてください。

①母親

1. 希望する保育所に入るため

- 2. 配偶者や家族の希望があったため
- 3. 経済的な理由で早く復帰する必要があった 4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため

5. その他(

)

②父親

- 1. 希望する保育所に入るため
- 2. 配偶者や家族の希望があったため
- 3. 経済的な理由で早く復帰する必要があった 4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため

5. その他(

)

(2)「希望」より遅く復帰した方 ※当てはまる番号<u>すべてに</u>〇をつけてください。

①母親

- 1. 希望する保育所に入れなかったため
- 2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため
- 3. 配偶者や家族の希望があったため
- 4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
- 5. 子どもをみてくれる人がいなかったため
- 6. その他(

②父親

- 1. 希望する保育所に入れなかったため 2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため
- 3. 配偶者や家族の希望があったため
- 4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
- 5. 子どもをみてくれる人がいなかったため
- 6. その他(

問30-2で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問30-7 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。当てはまる番号1つに〇をつ けてください。

(1)母親

- 1. 利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)
- 2. 利用した
- 3. 利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)

(2)父親

- 1. 利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)
- 2. 利用した
- 3. 利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)

問30-7で「3.利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)」と回答した方にうかがいます。

問30-8 短時間勤務制度を利用しなかった(利用できなかった)理由は何ですか。当てはまる理由を<u>すべて</u> に〇をつけてください。

(1) 母親

- 1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
- 2. 仕事が忙しかった
- 3. 短時間勤務にすると給与が減額される
- 4. 短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる
- 5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
- 6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた
- 7. 子育てや家事に専念するため退職した
- 8. 職場に短時間勤務制度がなかった(就業規則に定めがなかった)
- 9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった
- 10. その他()

(2) 父親

- 1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
- 2. 仕事が忙しかった
- 3. 短時間勤務にすると給与が減額される
- 4. 短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる
- 5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
- 6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた
- 7. 子育てや家事に専念するため退職した
- 8. 職場に短時間勤務制度がなかった(就業規則に定めがなかった)
- 9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった
- 10. その他()

問30-2で「2. 現在も育児休業中である」と回答した方にうかがいます。

問30-9 宛名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。当てはまる番号<u>1つに</u>〇をつけてください。

(1) 母親

1. 1歳になるまで育児休業を取得したい 2. 1歳になる前に復帰したい

(2) 父親

1. 1歳になるまで育児休業を取得したい 2. 1歳になる前に復帰したい

問31 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号に<u>1つに</u>〇をつけてください。

満足度が低い	•			満足度が高い	
1	2	3	4	5	

問32 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

· · / · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
	······································

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。 切手は貼らずに同封の封筒に入れ、12月25日(水)まで、ご投函ください。